

長野市行政改革大綱（案）に寄せられた市民からの意見・提案への対応について

1 意見・提案の募集概要

募集期間：平成 19 年 9 月 11 日(火)～10 月 5 日(金)

募集方法：行政改革推進局、行政資料コーナー、各支所及び市ホームページで案を公表し、書面またはインターネットで意見を募集

2 いただいた意見・提案の内容及び検討結果等

意見番号	大綱（案）の該当箇所	意見等の概要 （要約又は一部語句を補っています）	対応（案）	説明
1	第 5 行政改革の基本方針 1 行政サービス提供の市の責任	冬の積雪に対する除雪対応が遅く、また放置されたままの箇所もある。議員や市職員は、歩道・坂道等を先頭に立って除雪する積極性・信頼性が求められている。	原案どおり	市は、行政が真に提供していかなければならないサービスを確実に実施し、市民が安心して暮らせる社会をつくる責任を果たすこととしています。また、「個人でできることは個人で」、「地域でできることは地域で」の考え方のもと、協働による取り組みを進めることとしています。
2	第 5 行政改革の基本方針 2 民間活力の活用の継続	保育園の民営化に反対。「民間にできることは民間で」ということだけで民営化してしまおうとする市の考えは理解できない。 財政が厳しいからといって、保育園を民営化してはいけないのか。公共事業の見直しなど、民営化の前に見直すところがたくさんあるのではないか。	原案どおり	市では、行政に新しい力、新しいやり方を取り入れ、従来の発想を転換していくため、民間活力を必要な分野に効果的に導入することとしています。 保育所の民営化については、長野市立保育園民営化に関する基本方針に基づき、公立保育所の運営を市が直接行うことを見直し、地域の児童数の推移など保育需要を見据えて進めていきます。
3		保育園の民営化については、もう一度考え直して欲しい。 案において「行政の責任が弱く、民間でできるもの - 民営化を検討」とあるが、行政の責任が保育園になり（または弱い）ということはない。 財政的に苦しいなら、各小学校の児童数の推移などを参考に統合を進めてはどうか。		

意見 番号	大綱（案）の該当箇所	意見等の概要 （要約又は一部語句を補っています）	対応（案）	説 明
4	第 5 行政改革の基本方針 4 持続可能な行財政運営の推進	<p>選択と集中、あるいは事業の優先度を意識した結果推進しているのか疑問に思う事業がある。このような行財政運営が行われないことを希望する。</p> <p>例 1：都市計画マスタープランに弁天公園計画があるが、少子高齢化の進行と子供の遊びの変化等を考えると、今時このような大規模な公園が必要なのか。</p> <p>例 2：県の浅川への穴あきダム建設の方針を受け、市はダムからの利水を撤回し、ダム建設負担金について県に返還要請する意向を示している。水道局は「市内の水道供給体制には影響ない」との見解だが、何故水道供給体制に影響がないのに負担金を払って水源を確保する必要があったのか。また仮に予定通りダムができたとなれば不要な水源となり、まさに税金が水の泡と化したのではないか。</p>	原案どおり	<p>事務事業評価の一層の活用等により、限られた財源を有効活用し、「選択と集中」の考え方のもとに持続可能な行財政運営を推進していきます。</p> <p>なお、公園については、少子高齢化や人口減少、地球環境など新たな社会ニーズに的確に対応しつつ、健康・運動・防災・福祉等の観点から効率的、効果的な整備を行います。</p> <p>また、浅川ダムに水源を求めた昭和 60 年当時は、水需要が増加していましたが、平成 9 年度をピークに減少傾向となっています。危機管理対策として水源の多様化が望ましいことではありますが、浄水場間のバックアップ体制の整備も行っておりますので、市内の水道供給体制への影響はないと考えております。</p>
5	第 7 重点的に取り組むべき事項 1 職員数の削減	財政赤字であれば職員・議員・市長の昇給を停止し、賞与は停止もしくは減額させる必要がある。	原案どおり	職員数の削減に重点的に取り組み、人件費を抑制するとともに少数精鋭による行政運営を目指すこととしています。
6		「少数精鋭による行政運営を目指します」ではなく、「進めます」にならないか。	原案どおり	「目指します」は、永続的に改革を推進していくという強い意志を表しています。
7	第 8 具体的な取り組み 1 行政改革の推進と効率的な行財政運営	民間では、市場競争のため、販売単価を下げることを前提に生産・流通の合理化が行われている。行政機関及び行政サービスは各税を段階的に引き下げ、効率化・合理化に努め、その分市民生活の向上に寄与するのが本来である。	原案どおり	将来の税制度のあり方については、国において議論がされていますが、「1-1 効率的な行政の推進」において、事務事業の見直し等、行政サービスの効率化・合理化等に取り組むこととしており、コスト削減に努めていきます。

意見 番号	大綱（案）の該当箇所	意見等の概要 （要約又は一部語句を補っています）	対応（案）	説 明
8	第 8 具体的な取り組み 1 行政改革の推進と効率的な行財政運営	「1-1 効率的な行政の推進」について、財政構造改革プログラムに補助金の総点検の項目がある。是非総点検し徹底的な見直しを行ってほしい。また補助金は税金である以上、用途について説明責任がある。補助金交付の際は適正な使用をすべく補助金交付団体に対して監査体制の確立を指導し、使用状況の報告を義務付ける必要があるのではないか。	原案どおり	現行の行政改革大綱実施計画において「補助金等の類型化及び見直し」に取り組んでおり、補助金の類型化作業結果を事務事業評価に活用するなど、見直し作業を進めています。新たな大綱の下でもこの取り組みを継続していきます。
9		五輪施設における年間行事プログラムが市民に公開・配布されていない。各事業を公募アピールして歳時記化し、広報の中に定期的に配布し、市民参加と収益の強化を図るべき。事業収入が見込めない施設はオークションとして売却・貸与することを検討願う。	原案どおり	「1-3 健全な財政運営の実現」に基づいて、自主財源の確保や、市有財産の適正な管理と有効活用にも今後取り組んでいきます。
10		住民税、固定資産税、法人・事業所税等については、現行法の基準に則り、公平徴収を徹底させる。	原案どおり	市税等の公平徴収の徹底については、「1-3 健全な財政運営の実現」において、市税などの賦課の適正化と収納率の向上を図ることとしており、ご意見のとおり公平な徴収に取り組めます。
11	第 8 具体的な取り組み 2 成果重視による市民満足度の高い行政経営の推進	「2-2 市民とともに行動する人材の育成と活用」について、市民の目線で行動できる人材の育成と活用を「目指します」ではなく、是非お願いしたい。	原案どおり	「目指します」は、永続的に改革を推進していくという強い意志を表しています。
12		職員の異動について、高度な専門性が要求されるような職員に対しては経験年数が長くなる人事、さらには専門職とする等の人事制度についても検討して欲しい。	原案どおり	「2-2 市民とともに行動する人材の育成と活用」に基づいて、効果的な任用や市民ニーズに的確に応える人材の育成等に取り組んでいきます。

意見 番号	大綱（案）の該当箇所	意見等の概要 （要約又は一部語句を補っています）	対応（案）	説 明
13	第 9 改革の推進 1 職員の意識改革	市民の期待に応えられ、信頼される職員を「目指します」ではなく、是非そのようになってほしい。	原案どおり	「目指します」は、永続的に改革を推進していくという強い意志を表しています。
14	その他	地球温暖化をもたらす CO2 を削減するために、山、道路、公共地等の計画的植樹を実施して欲しい。	原案どおり	行政改革大綱では直接記述しておりませんが、「長野市緑を豊かにする計画」等により推進していきます。